

- 問1 19世紀後半の日本における産業構造の変化について、当時の労働状況や背景を述べた文として正しいものを選択してください。 (2020年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 農村の余剰労働力を吸収するため、幕府が各地に「座」を設置して手工業を保護・育成した。 | 2. 重化学工業の発展により、都市部の工場では男性の熟練技能者が労働力の中心となった。 | 3. 貨幣経済の混乱を防ぐため、特定の特権商人が金座や銀座において独占的な通貨発行権を行使した。 | 4. 機械を導入した工場制機械工業が普及し、製糸業や紡績業において女性労働者が重要な役割を果たした。 |
|---|---|--|--|
- 問2 1902年の日英同盟締結を経て1904年に勃発した日露戦争の時期に、与謝野晶子が詠んだ詩の内容やその背景として最も適切なものはどれですか。 (2023年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 欧米への岩倉使節団に同行した経験から、帰国後に女子教育の重要性を説き、女子英学塾を設立した。 | 2. 日清戦争後の庶民の暮らしや、当時の女性の厳しい社会状況を『たけくらべ』などの小説を通して描いた。 | 3. 日露戦争に出征した弟の命を案じ、家族としての素直な感情を「君死にたまふことなかれ」という言葉に込めて表現した。 | 4. 「元始、女性は太陽であった」という言葉を掲げ、平塚らいてうらと共に女性の権利拡大を求める運動を開始した。 |
|---|---|--|---|
- 問3 1880年代から1900年代初頭にかけての明治時代の歩みについて、風刺画に描かれた以下の4つの出来事を、発生した時期が古い順に並べたものとして正しい組み合わせはどれですか。「イギリス人乗組員が救助される一方で日本人乗客が犠牲となった海難事件」、「大日本帝国憲法の発布後、有権者が投票所に集まり実施された日本初の総選挙」、「朝鮮半島などの支配権をめぐり清との間で行われた戦争」、「ロシアの南下政策に対抗するために日本とイギリスが結んだ軍事同盟」。 (2018年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. ノルマントン号事件 → 日清戦争 → 第1回衆議院議員総選挙 → 日英同盟 | 2. 第1回衆議院議員総選挙 → ノルマントン号事件 → 日清戦争 → 日英同盟 | 3. ノルマントン号事件 → 第1回衆議院議員総選挙 → 日清戦争 → 日英同盟 | 4. 日清戦争 → ノルマントン号事件 → 日英同盟 → 第1回衆議院議員総選挙 |
|--|--|--|--|
- 問4 明治時代の外交史において、領事裁判権の撤廃が実現した時期を説明した記述として、最も適切なものはどれですか。なお、条約改正の歩みには、岩倉使節団の派遣、鹿鳴館時代、憲法発布、日露戦争、関税自主権の回復といった重要な節目があるものとします。 (2017年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|-----------------------------------|--|--------------------------------------|
| 1. 岩倉使節団が欧米を訪問していた時期と、鹿鳴館で外交官を接待していた時期の間 | 2. 大日本帝国憲法が発布された後から、日露戦争が勃発するまでの間 | 3. 日露戦争の講和会議が行われた後から、関税自主権が完全に回復するまでの間 | 4. 第一次世界大戦が終結し、日本が国際連盟の常任理事国になった後の時期 |
|--|-----------------------------------|--|--------------------------------------|
- 問5 明治時代の外交において、日清戦争の講和条約である下関条約が結ばれてから、日露戦争が始まるまでの時期に起きた出来事として正しいものはどれですか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------|
| 1. ロシアの南下に対抗するため、イギリスとの間で日英同盟を結んだ | 2. 陸奥宗光がイギリスとの交渉を行い、領事裁判権の撤廃を実現した | 3. 小村寿太郎がアメリカとの交渉を経て、関税自主権の完全な回復を達成した | 4. 岩倉具視らが欧米諸国を視察し、不平等条約の改正交渉を試みた |
|-----------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------|
- 問6 明治初期、特権を奪われた士族たちは各地で反乱を起こしましたが、1877年に鹿児島で西郷隆盛を中心として起きた、最大にして最後となった士族の反乱を何といいますか。 (2022年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|---------|--------|
| 1. 西南戦争 | 2. 神風連の乱 | 3. 佐賀の乱 | 4. 萩の乱 |
|---------|----------|---------|--------|
- 問7 岩倉使節団が視察した当時のイギリスにおいて、世界貿易を主導する強力な工業生産力を支えていた、主な地下資源と背景の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---|--------------------------------------|---|
| 1. 銀や銅を輸出することで得た利益を元手に、繊維工業の機械化を図った。 | 2. 広大な森林から得られる木材を燃料とし、蒸気機関に頼らない手工業を発展させた。 | 3. 植民地から獲得した石油と天然ガスを活用し、重化学工業を飛躍させた。 | 4. 国内で豊富に産出された石炭と鉄を活用し、産業革命によって工業化を進めた。 |
|--------------------------------------|---|--------------------------------------|---|
- 問8 条約改正の歴史において、陸奥宗光が領事裁判権の撤廃を達成した当時の国際情勢や背景を説明したものとして、正しい内容はどれですか。 (2025年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--------------------------------------|--|--|
| 1. 日露戦争に勝利した直後の時期であり、日本の軍事的な優位性が認められた。 | 2. 岩倉使節団の派遣中であり、欧米の制度を視察した直後の成果であった。 | 3. 大逆事件が起こった直後であり、国内の治安維持のために法改正が急がれた。 | 4. 日清戦争が始まる直前の時期であり、日本が近代国家としての基盤を整えたことが評価された。 |
|--|--------------------------------------|--|--|
- 問9 明治政府は、近代化を進める「殖産興業」政策の一環として、群馬県に官営模範工場を設立しました。この工場で生産され、当時の日本の主要な輸出品となったものは何か、工場の名称と製品の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2018年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------|---------------|----------------|---------------|
| 1. 富岡製糸場 ― 生糸 | 2. 八幡製鉄所 ― 鉄鋼 | 3. 大阪紡績会社 ― 綿糸 | 4. 富岡製糸場 ― 綿糸 |
|---------------|---------------|----------------|---------------|
- 問10 明治維新の際、政府が神道を国教化しようとして出した神仏分離令をきっかけに、各地で寺院や仏像などが破壊される運動が起こりました。この運動の名称と、その後に日本の伝統美術の価値を再発見し、文化財の保護と保存に尽力した人物の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2019年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 版籍奉還と大久保利通 | 2. 廃藩置県と木戸孝允 | 3. 廃仏毀釈と岡倉天心 | 4. 廃仏毀釈と新渡戸稲造 |
|---------------|--------------|--------------|---------------|
- 問11 1872年に新橋・横浜間で鉄道が開通した頃、明治政府は欧米の先進技術を取り入れて産業を育成する「殖産興業」の政策を進めました。その一環として、高品質な生糸を生産し輸出を拡大するために群馬県に設立された、官営模範工場の名称として正しいものはどれですか。 (2023年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|----------|----------|
| 1. 足尾銅山 | 2. 富岡製糸場 | 3. 長崎造船所 | 4. 八幡製鉄所 |
|---------|----------|----------|----------|
- 問12 幕末に結ばれた不平等条約には、日本国内で罪を犯した外国人を、日本側ではなくその国の領事が裁く「治外法権（領事裁判権）」が認められていました。この権利の撤廃を目指し、1894年にイギリスとの間で日英通商航海条約を締結し、交渉を成功させた人物は誰ですか。 (2016年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|----------|--------|
| 1. 陸奥宗光 | 2. 岩倉具視 | 3. 小村寿太郎 | 4. 井上馨 |
|---------|---------|----------|--------|
- 問13 大日本帝国憲法下の統治体制において、立法権を担う帝国議會を構成していた二つの議院の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2024年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|---------------|------------|------------|
| 1. 衆議院と貴族院 | 2. 立憲政友会と憲政本党 | 3. 元老院と衆議院 | 4. 衆議院と参議院 |
|------------|---------------|------------|------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 機械を導入した工場制機械工業が普及し、製糸業や紡績業において女性労働者が重要な役割を果たした。	日本の産業革命は、まず繊維産業において手作業から機械を使った工場生産へと移行することで始まりました。この時期、輸出の主力であった生糸を生産する製糸業や、綿糸を生産する紡績業において、多くの女性が工場で働くようになり、近代的な労働者層が形成されました。対して重化学工業が日本の産業の主流となるのは、1930年代以降の時期になります。
問2	答え 3 日露戦争に出征した弟の命を案じ、家族としての素直な感情を「君死にたまふことなかれ」という言葉に込めて表現した。	与謝野晶子が「明星」に発表したこの詩は、日露戦争の際、国家主義的な教育が広まる中で「死ぬことが名誉である」とされた風潮に対し、家族の死を悼み、命を大切にする姿勢を示したものです。他の選択肢にある平塚らいてうは青鞞社での女性解放運動、樋口一葉は写実的な文学、津田梅子は女子教育の先駆者であり、日露戦争期における文学・文化の動向とは区別する必要があります。
問3	答え 3 ノルマントン号事件 → 第1回衆議院議員総選挙 → 日清戦争 → 日英同盟	明治時代中期から後半にかけて、日本は近代国家の形成と国際的地位の向上を急ぎました。まず、1886年のノルマントン号事件によって領事裁判権（治外法権）の弊害が露呈し、条約改正を求める世論が激化しました。次に、1889年の大日本帝国憲法発布を受け、翌1890年に第1回衆議院議員総選挙が行われ、立憲政治が始まりました。その後、1894年に日清戦争が勃発し、これに勝利した日本は東アジアでの地位を高め、最終的に1902年にロシアの南下を警戒するイギリスとの間で日英同盟を締結しました。
問4	答え 2 大日本帝国憲法が発布された後から、日露戦争が勃発するまでの間	領事裁判権の撤廃が実現したのは1894年です。これは大日本帝国憲法が発布された1889年より後であり、日露戦争が始まった1904年より前の出来事にあたります。日本が憲法を制定し、立憲国家としての体裁を整えたことが、イギリスなどの列強に条約改正を決断させる大きな要因の一つとなりました。
問5	答え 1 ロシアの南下に対抗するため、イギリスとの間で日英同盟を結んだ	下関条約は1895年、日露戦争の開戦は1904年です。この間の1902年、ロシアのアジア進出（南下政策）を警戒した日本とイギリスの間で日英同盟が締結されました。なお、領事裁判権の撤廃は日清戦争直前の1894年、関税自主権の回復は日露戦争後の1911年、岩倉使節団の派遣は明治初期の出来事です。
問6	答え 1 西南戦争	明治政府による秩禄処分（家禄の廃止）や廃刀令により、生活の糧や誇りを失った士族たちの不満が爆発しました。かつて維新の功労者であった西郷隆盛を担ぎ上げたこの反乱は、当時の新制軍隊（徴兵された農民兵主体）が士族の軍隊に勝利したことで、武力による抵抗の限界を世に知らしめる結果となりました。
問7	答え 4 国内で豊富に産出された石炭と鉄を活用し、産業革命によって工業化を進めた。	イギリスの産業革命を支えた重要な要素は、エネルギー源としての石炭と、機械や鉄道の材料となる鉄が国内で豊富に産出されたことでした。これらを利用して蒸気機関を活用した機械工業を発展させたことで、イギリスは世界最大の工業国としての地位を確立し、世界貿易を支配しました。
問8	答え 4 日清戦争が始まる直前の時期であり、日本が近代国家としての基盤を整えたことが評価された。	陸奥宗光が条約改正に成功した1894年は、日清戦争が勃発する直前の時期にあたります。日本が憲法の発布（1889年）や国会の開設（1890年）を行い、近代的な法整備を進めたことが、イギリスをはじめとする列強諸国に認められたことが大きな要因となりました。日露戦争後の成果は小村寿太郎による関税自主権の回復（1911年）に関わります。
問9	答え 1 富岡製糸場 ― 生糸	明治政府は外貨を獲得して国力を高めるため、輸出産業の育成を急ぎました。その中心となったのが生糸（カイコの繭から作られる糸）であり、品質向上と機械技術の普及のために富岡製糸場が設立されました。選択肢にある「綿糸」は、主に国内の衣類原料として後に発展しますが、明治初期の輸出の主役は生糸でした。
問10	答え 3 廃仏毀釈と岡倉天心	明治初期の神仏分離を機に、仏教を排斥しようとする「廃仏毀釈」の運動が激化し、多くの貴重な文化財が破壊・散逸しました。この状況に対し、欧米の文化を重んじる文明開化の流れの中で失われた日本美術の価値を訴えたのが岡倉天心です。彼はフェノロサらとともに古社寺の調査を行い、文化財の保護制度を整える先駆的な役割を果たしました。
問11	答え 2 富岡製糸場	明治政府は、欧米列強に対抗できる経済力をつけるため、近代的な産業を育てる「殖産興業」を推進しました。その中で、当時の日本の主要な輸出商品であった生糸の品質向上と増産を目指し、フランスの技術を導入したモデル工場として、群馬県に富岡製糸場が建設されました。八幡製鉄所は、のちの日清戦争後に北九州に建設された鉄鋼工場であり、混同しないよう注意が必要です。
問12	答え 1 陸奥宗光	1894年、日清戦争の開戦直前に外務大臣の陸奥宗光がイギリスとの間で日英通商航海条約を締結し、領事裁判権（治外法権）の撤廃に成功しました。これにより、幕末以来の課題であった不平等条約の改正が大きく前進しました。1911年に関税自主権の回復を成し遂げた小村寿太郎との混同に注意が必要です。
問13	答え 1 衆議院と貴族院	大日本帝国憲法下の帝国議会は二院制を採用しており、選挙によって選出された議員で構成される衆議院と、皇族・華族・勅任議員（天皇から任命された者）などで構成される貴族院の二つが置かれました。現在の国会を構成する「参議院」は、戦後の日本国憲法において貴族院に代わって設置されたものです。